

## 活動報告書

●活動名：脱穀

●活動のめあて（目的、目標）：

いろいろな道具を使い脱穀作業を体験することに、手作業の大変さや機械化の便利さを理解するとともに、地域の方々とのふれあいを深め、楽しく活動することができる。

●日 時：平成27年10月13日（火） 13：00～14：30

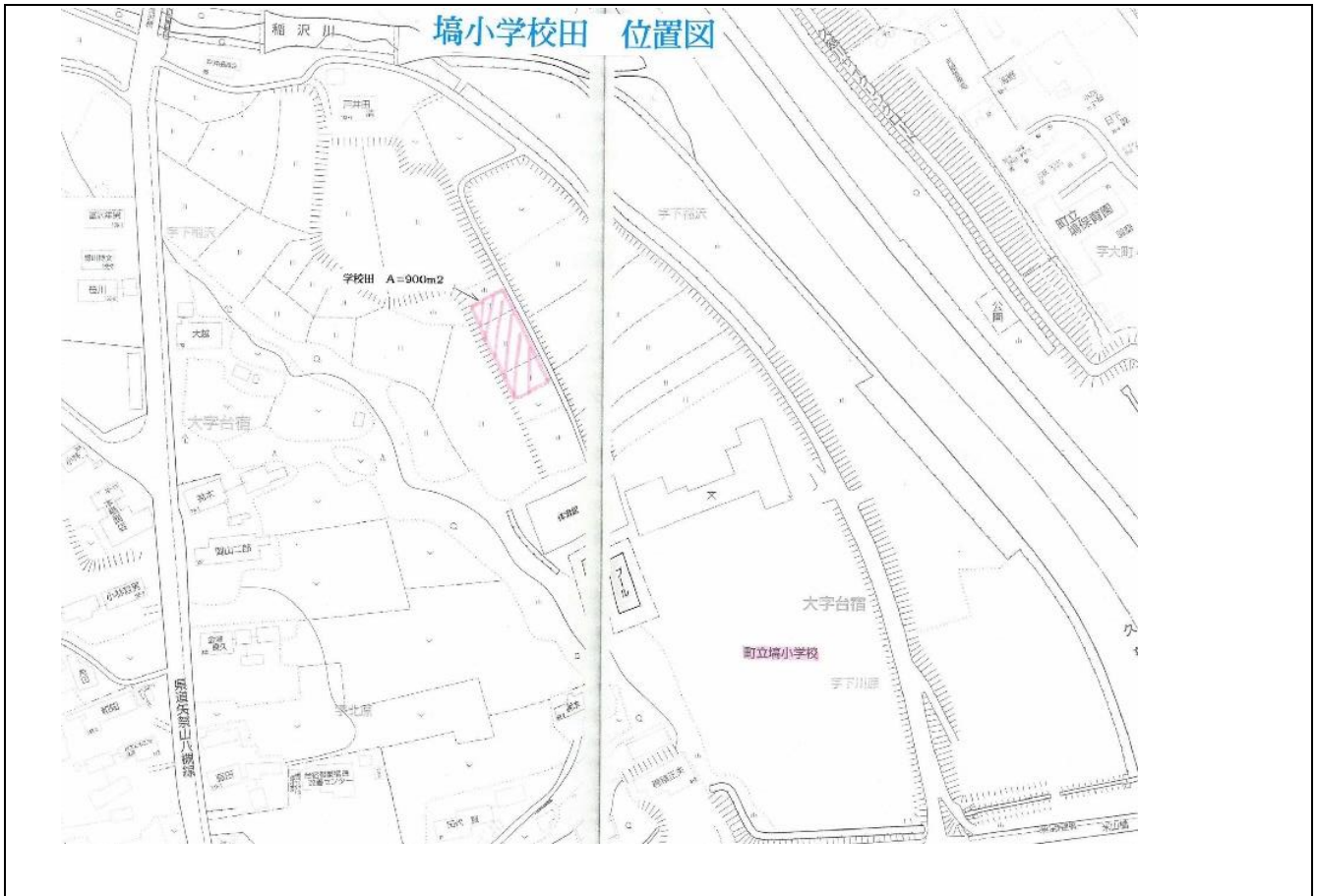
●天 気：晴れ

●場 所：塙小学校 学校田

●当日参加者・協力者

参加者内訳	技術指導	人数
県職員		2名
小学校教諭		4名
児童		47名
地元農家（田んぼ・畑の学校の先生）	○	9名
保護者		0名

●当日の活動場所見取り図





脱穀作業場所全容

●事前準備

前日までの準備

実施したこと・準備したもの

参考画像

・特に無し。

当日の準備

実施したこと・準備したもの

参考画像

・こきばし、ブルーシートを農林事務所で準備。





こきばし





●準備物一覧

準備物	参考画像
<p>農林事務所準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こきばし42セット</li> <li>・ブルーシート3枚(使用無し)</li> </ul> <p>農事組合準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千歯こき1台</li> <li>・足踏み脱穀機2台</li> <li>・ハーベスタ2台</li> <li>・ブルーシート4枚</li> <li>・コンバイン袋15袋</li> </ul>	 <p>ハーベスタ</p>  <p>千歯こき</p>

●当日の活動内容

時間	活動内容・作業や指導のコツ等	参考画像
13:00	<p>開会式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埴小学校吉田校長あいさつ</li> </ul> <p>「現在、広く普及している脱穀方法は機械です。機械で脱穀するとすぐ終わってしまいます。ですが、今日は昔ながらの脱穀方法を体験して昔の人々の苦労と農業機械の進化を学んで下さい」とあいさつがありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農事組合松本会長のお話</li> </ul> <p>「今日扱う機械は危険なものが多いので大人の方々の言うことをよく聞くように」とお話がありました。</p>	 

<p>13:15</p>	<p>・脱穀 もち米約 600 ㎡については、農事組合の方々がハーベスタを用いて、脱穀を行いました。 5年生児童はうるち米約 300 ㎡について農事組合の方々の指導の下、足踏み脱穀機、こきばし、千歯こきの順番で脱穀を体験しました。 うるち米は最後にハーベスタで脱穀を行いました。</p>	
<p>14:20</p>	<p>閉会式 ・児童からのお礼の言葉 「昔の人が使っていた道具によって脱穀することはとても難しく、昔の人は苦勞していたことがわかりました。」とお礼の言葉をいただきました。</p>	

●活動の成果・効果

<p>活動の成果</p>	<p>・うるち米（コシヒカリ）約 50kg、もち米約 100kg</p>
<p>児童の感想</p>	<p>・昔の人が使っていた道具によって脱穀することはとても難しく、昔の人は苦勞していたことがわかりました。</p>
<p>小学校の感想</p>	<p>・脱穀では、こき箸、足踏み脱穀機、千歯こきなど昔の方法を体験することができ、さらに米作りの興味を深めることができた。また、地域の方々との関係が深まり、作業中は楽しく会話をしたり、分からないことを進んで聞いたりしながら活動することができた。さらに、学習成果発表会や収穫祭では、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを伝えたいという意識を高めることができた。</p>
<p>地元農家の感想</p>	<p>・途中ハーベスタの調子が悪くなることがあったが、無事、脱穀を終えることが出来た。収穫祭が楽しみです。</p>